

Camponotus lateralis

(Olivier, 1792)

赤い頭と黒いガスターを持つ小型で臆病なオオアリで、シリアゲアリに擬態し、その行列の跡をたどって餌を見つけます。



写真：Philipp Hoenle (myrmecophil), CC0 1.0

ひと目でわかる情報



巣の温度
21-27 °C
巣の中



巣の湿度
40-60 %
巣の中



休眠
8-12 °C
11月 - 2月



結婚飛行
4月 - 5月
暑い日, 穏やかな天気



働きアリ
3-7 mm
さまざまな大きさ



女王
8-10 mm
女王は1匹

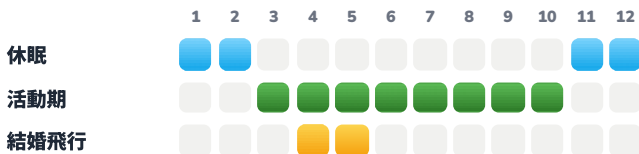


コロニーの規模
働きアリ1,000匹規模
成長速度：普通



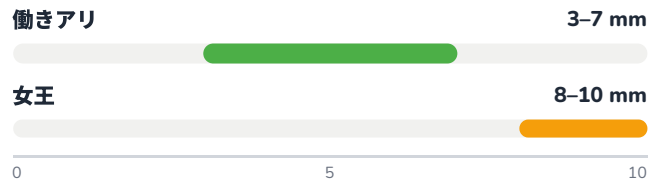
脱走リスク
中程度
アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

- 木製の巣
- Ytongの巣
- アクリル製の巣

この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ⚠ 好奇心が強い働きアリなので、アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

飼育者からのメモ

ヒント

コンパクトで乾いた暖かい巣と、別の水源を用意しましょう。乾いた日当たりのよい地中海の林にすむ種で、湿気を好みません。ある飼育者のコロニーは、巣の湿った部分から離れた隅にブルードを置いていました。

注意

創設中の女王アリには辛抱強く付き合しましょう。立ち上がりが遅く、産卵までに長い時間がかかることがあり、最初の働きアリの数も少ない種です。飼育者は、若いコロニーを急いで巣に移さず、水の蓄えがある試験管に入れたまま最初の数回の冬を越させるよう勧めています。